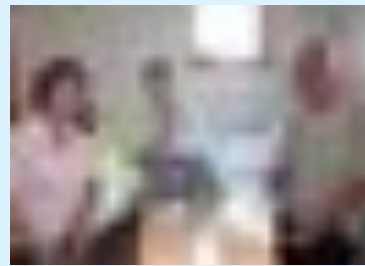
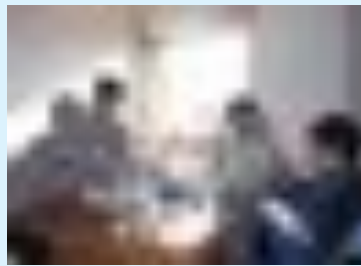
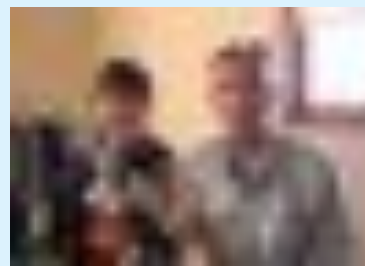
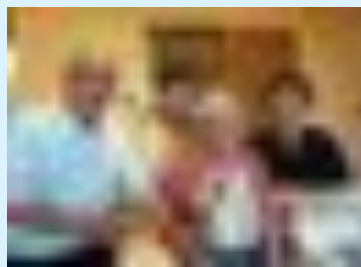


かざぐるま 3周年記念式を行いました

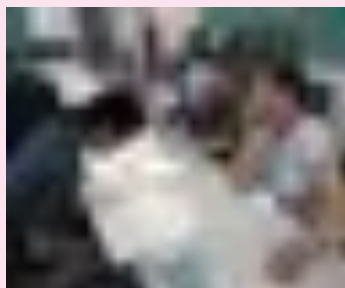
開設3周年を迎えた、かざぐるまではご利用者、ご家族と一緒に3周年記念式を開催しました。3年間の思い出のビデオ上映やスタッフが花笠音頭を披露。あわせてご夫妻で入居されている山崎さんご夫婦の結婚60周年ダイヤモンド婚式をスタッフ手作りのケーキでお祝いして賑やかな記念式となりました。

川邊施設長からは「地域の皆様に支えられ3周年を迎えることができました。平均年齢は90歳です。いつもみなさんが元気いっぱい暮らしていることに感謝しています。今後もアットホームな環境で地域の皆様に支えられながら穏やかな生活を支援させていただきます」と挨拶。その後は皆さんともいい笑顔で記念撮影をしました。



在宅ケアのための料理と介護講座を開催

今年は15名の参加で午前中はやわらか食の調理実習と試食、午後は今回初めて脳の健康教室の「えがお塾」と手足マッサージの「もみ塾」の体験を行いました。



「えがお塾」



「もみ塾」

ミニバレーチームに揃いのユニフォームが誕生しました

念願のチームユニフォームが出来ました！それぞれのチームカラーで力が入った熱戦を繰り広げていましたよ。



芦別慈恵園では、サービスの質の向上、利用者に対する情報提供を目的として、公平・中立な第三者評価機関による『第三者評価』を受審しました。

その評価結果が回答されましたのでお知らせいたします。

なお、アンケート結果などの詳しい内容は、園内での閲覧とホームページで公開しております。

評価結果

◇特に評価の高い点

地域のリーダーとして

芦別地域近郊の高齢化率が高まる中で、サテライト型居住施設や認知症通所介護の開設、高齢者配食事業など、施設の機能を在宅高齢者に還元するサービスを展開し地域の福祉ニーズに貢献されています。更に地域の抱える共通課題を問題提起するなど、地域全体の介護改善、福祉推進に取り組む姿勢は地域のリーダー的存在である。

食へのこだわり

法人の介護理念でもある「最期の時まで口から食べる」をもとに、食を大切にする様々な取り組みが実施されている。配食サービスにより、高齢者の在宅生活の支援を行い、施設内の食事についても、普通食と変わらない見た目と舌触りに配慮した調理の工夫もされている。市民を対象に料理と介護講座を毎年開催し、専門技術を地域に還元されており食に関する取り組みは評価が高いといえる。

生活感のある暮らし・学習療法

ユニットケア・グループケアの実施により、法人の介護理念「ひとり一人の生活や暮らしを大切に」を実現するために努力をされており、ユニットクッキングを通じた嗜好の把握、利用者と一緒に調理や配膳をするなど、より家庭に近い形で生活ができるよう取り組みを行っている。認知症の予防・改善のために「学習療法」を導入、地域のモデルとして、学習療法の見学施設にもなっている。

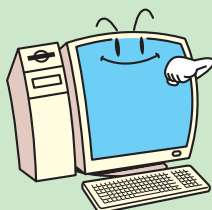
◇改善を求められる点

施設運営・サービスの質の向上

管理層は、より良い組織作りのため多様な取り組みを推進し、福祉の動向や地域のニーズの把握に努め、地域に根ざしたサービスの質の向上に真摯に取り組んでいますが、今回の評価で管理層と職員、職員間での運営・サービス内容・就業状況など改善への取り組みに対しての意識レベルに差が感じられます。今後は、管理層と職員の双方向の関係性を構築することにより、より風通しの良い施設運営に期待したい。

ホームページ

法人のホームページは、内容が豊富でありわかりやすいが、行事などに年度の記載がないものもあり、最新の情報が少なく感じます。既に今後の対応が検討されていると言う事ですので、早期対応が望まれる。



◆第三者評価結果に対する事業者のコメント

法人や管理者の取り組みについては、職員・家族・利用者共にある程度の理解がされている。しかし、法人が取り組みや方向性を明確に打ちだしても、十分に浸透していないため、職員一人ひとりの意識の違いや価値観に基づいた判断をしていることもあり、法人全体としての取り組みを職員が理解していかなければならないことが分かった。

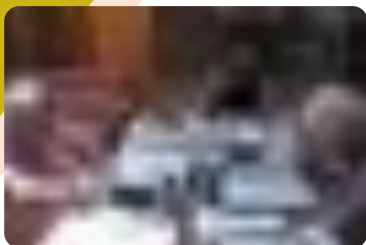
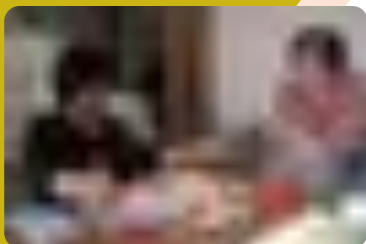
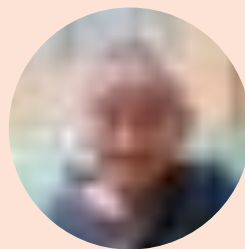
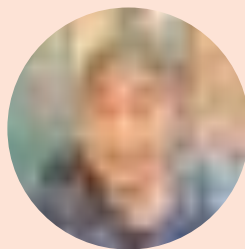
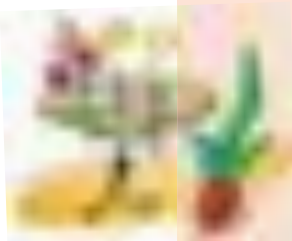
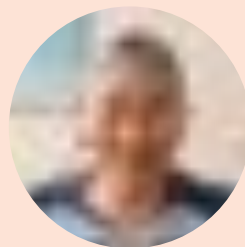
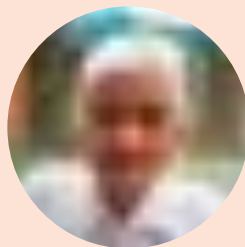
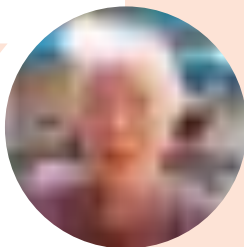
職員アンケートからは、どの職員も法人の基本理念・基本方針、それに基づき立案された事業計画の存在については、組織的に計画されている事を知っていることが読み取れる。

「管理者」については、事業所・部署の職員によってとらえ方が異なり、職員一人ひとりが「管理者」とは誰のことを指して回答しているのかは不明である。このことから管理層と現場職員との一体感を作る必要がある。その為には、取り組んでいることの情報公開を第一に、各部署のリーダー職員が、組織の方向性を明確に理解し、実践していくことである。それが現場職員に自然に伝わることになる。基本理念の実践は自分達職員であることを職員一人ひとりが自覚し、一部の人間が行う事と考えずに、自分自身が組織の中でどのような役割を担っているかを考え、意識して情報をとり、実践する事が大切である。

取り組みとしては、法人内情報共有システムである、『おもしろネットワーク』の活用を更に進める。

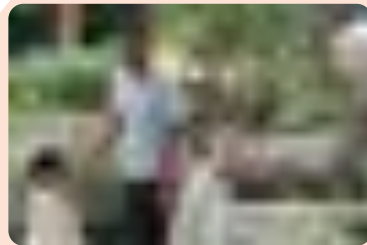
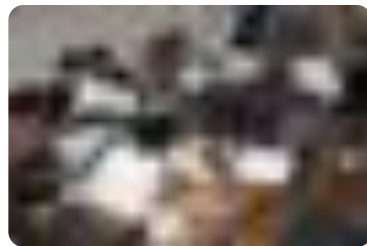
ひろば

- ★学習療法をしに教室へ向かうと涼しい風が吹いてきました。もう秋が来ているんですね。秋といえれば色んな食べ物が美味しい季節だから楽しみです。
- ★廊下にある赤くてフワフワしているお花が可愛くて元気をもらえますね。最近では増えてきてどんどん大きくなっているんです。
- ★栗と柿なら栗のほうが好きだな。栗の木はこの辺にあるのかな。栗を食べるならやっぱり栗ご飯だな。だけど栗をとるのはなかなか大変なんだよな。



<デイサービスから……>

- ★今年の春から茶碗洗いが私の仕事になったの。毎回家からエプロンを持っていくの。なにか自分の役割があるってうれしいのよね。今はデイサービスの日が私の生きがいです。
- ★お習字を毎回楽しみにしているの。病気になって字がうまく書けなくなってしまったのだけれど、字を書くことは好き。筆を持つと背筋がピッと伸びて集中できるの。こないだは表彰されて壁に飾ってもらったの。恥ずかしかったけど、みんなから褒めてもらってうれしかったわ。
- ★なごみの丘ができてから利用の日はいつも足湯に行くの。病気をしてから足の血行が悪くてね。足湯をしながら視界いっぱい広がるお花を見ると気持ちもすっきりします。
- ★毎回足のマッサージを受けています。足のむくみがひどくて悩んでいたのですが、マッサージを受け続けて2カ月が過ぎ、むくみが取れてきたように思います。週1回のマッサージでもこんなに効果があるのかと、妻と一緒に驚いています。
- ★お友達と一緒に毎回楽しく頭の体操をしています。なにもできない私でも先生に助けてもらったら、100点がとれるし、頭がスッキリする気がします。終わった時にはいつも2人でバンザイして帰ってくるのがおかしくて。今度も100点が取れる問題を用意してね。



▽訪問・ボランティア

ともしび会、しらゆり、さくら、ふきのとう、マーガレット、ミケ、アトム、コロちゃん

▽訪問 (室蘭市) 山本マキ子

ラルズプラザ芦別店労働組合

川島書店

杉山 澄子、高橋 保夫、

西本 三平、高橋 初枝、

池田 ウメ、三谷 和子、

西澤 栄次、小川あや子、

宮原喜代子、黒滝 洋

(芦別市) 野端寿々子、横市 美雪

▽寄付物品

▽寄付金

(芦別市) 戸辺 辰三、北村 憲男

(旭川市) 東海林 猛

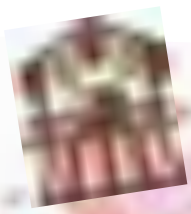
ご厚意ありがとうございます。

(平成22年4月～8月・敬称略)

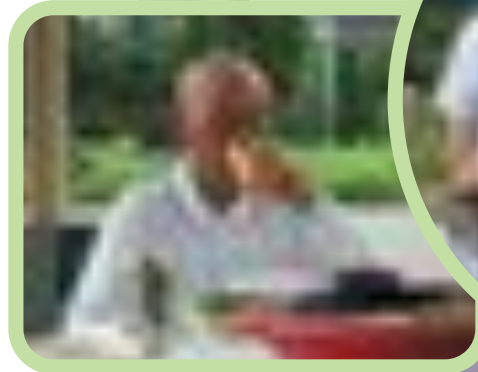
楽しい夏!!



花火見物



夏祭り

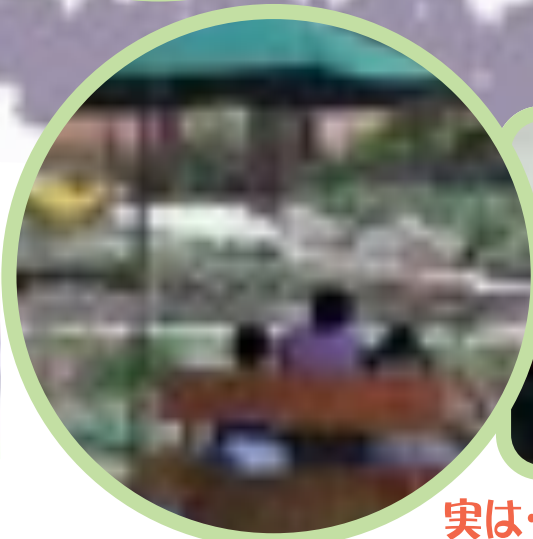


暑い日のビールは
うまいな!!

ハイチーズ!!

スタッフ★コラム

今年は本当に暑く長い夏でしたね。夕涼み会、盆踊り、花火見物、夏祭り... 暑さに負けずに夏の行事の散々を楽しんでいただけましたか?



実は...足湯中なんです 